

# Vine

## 生命環境学部

理系センスも磨ける  
社会系学科と自然科学を総合した  
理系学科からなる第四の学部

グリーンエネルギー変換工学  
特別教育プログラム(平成24年度新設)

[ゼミ紹介]  
教育人間科学部 数学教育講座  
[びっくあっぷレッスン]  
看護方法論  
サークル紹介/気になるお店



# 生命環境学部

Faculty of Life and Environmental Sciences

山梨大学は教育人間科学部、工学部、医学部の3学部からなる国立大学法人として、地域の教育・産業・医療の中核を担い、国際的にも活躍できる人材の育成を行ってきました。その一方で、農学系、社会科学系の学部を持つことを地域より強く求められてきました。山梨大学では、この要請に応えるために長年にわたって検討してきた結果、平成24年4月に第四の学部として「生命環境学部」を発足させることになりました。この学部には、「持続的な食料の生産と地域社会の繁栄を実現するために、生命・食・環境・経営に関し広い視野を持つ人材を養成する」ことを目指し、新たに4学科が設置されます。

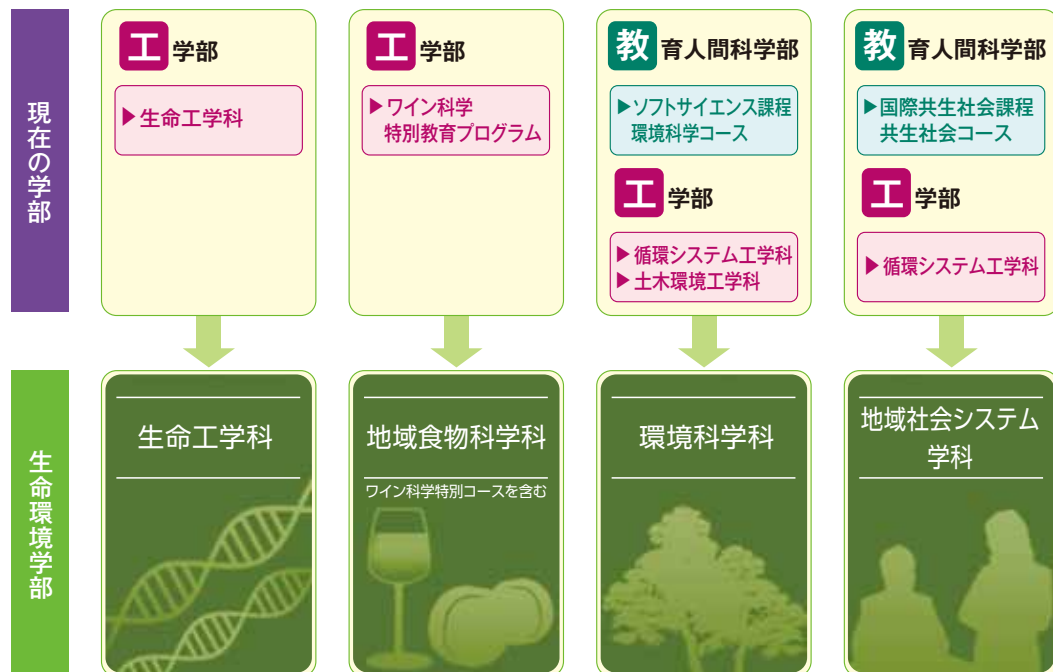
望まれていた分野の一つ、山梨県の基幹産業である農業を支える分野に対し、農業生産を「食物」という切り口で学べる学科として設置されたのが地域食物科学科です。山梨大学には63年の歴史を誇るワイン科学研究センター（発足時は山梨工業専門学校附属発酵研究所）があります。地域食物科学科はこのワイン研究の人材に加え、農作物栽培、食品加工、栄養学を研究している人材を集め、まったく新しい学科として誕生します。これにより、理系の受験生に新しい選択肢を提供できることになります。

これまでは、文系の受験生の受け皿として、主に教員養成を行う教育人間科学部がその役割を担ってきました。これに対し、生命環境学部には、経済・経営・法律・政治について学び、地域社会のマネジメントに関する知識を修得する地域社会システム学科ができます。これにより、文系の受験生にも新しい選択肢を提供できるようになります。

新しい分野を作るとともに、今まであった分野をより時代のニーズに即したものに変わっていくことも必要です。この考え方で誕生した学科が、生命工学科と環境科学科です。生命工学科では、有用微生物によるバイオテクノロジーを基盤にし、さらに発生工学などの新しい研究人材を募って、再生医学、植物バイオ、バイオ燃料などの新領域の教育研究を本格的に導入します。環境科学科は、学内に分散していた環境系の教員を集め、大気・水・土壌・生物といった広い範囲をカバーし、理学・工学の要素を融合した学科です。この学科では、環境測定、環境と生物との関係、水・物質の循環・動態、環境情報処理などの教育研究が行われます。

このように、生命環境学部は、山梨大学のヒューマンリソースを結集し、時代のニーズに応えるために設置された総合学部です。この学部には、未来を拓く多くの若者が学びに来てほしいと願っています。

## 山梨大学の挑戦 新しい社会づくりへ





## ●新しくできる学部附属施設



1階/動物実験[マウス]  
マイクロマニピュレーション



2階/細胞培養実験  
細胞イメージング  
分子生物学実験

### 1) 附属農場

甲府市農業センター小曲試験圃場の一部を借用して作られた総面積約2.5haの農場です。山梨県の特産果樹であるブドウや桃、地域特性に適した農作物の作付けを行い、教育・研究に利用します。また、全学科の学生がこの農場で「生物資源実習」を受講します。設備として、管理棟(575m<sup>2</sup>)、ガラス温室(480m<sup>2</sup>)、堆肥舎、人工気象室、プレハブ倉庫などがあります。

### 2) 附属ライフサイエンス実験施設

実験動物飼育室、マイクロマニピュレーション室、分子生物学実験室、細胞培養実験室、細胞イメージング室等からなる学部附属の実験施設です。新設の施設で、完成は平成24年の6月頃です(2階建て800m<sup>2</sup>)。この施設では、遺伝子(DNA)、タンパク質、細胞、動物個体の各レベルにおいて質の高い実践的な教育研究を行うことができます。

## ●学部教育に協力する研究センター

山梨大学にはいくつかの研究センターがありますが、そのうちワイン科学研究センターと国際流域環境研究センターの教員が生命環境学部の教育に参加します。これにより、最先端の研究の成果が教育の中に取り入れられます。



### 1) ワイン科学研究センター

国立大学唯一のワイン科学を専門に研究するセンターです。60年以上の歴史があり、日本のワイン科学の教育と研究の拠点になっています。地域食物科学科の「ワイン科学特別コース」では、ワイン造りに情熱を抱き、ワイン業界をリードできる高度な専門知識と技術を持つ人材を育てます。



野外調査と分析

### 2) 国際流域環境研究センター

国内外の水問題、つまり水資源の枯渇、水災害、水環境の悪化、水に起因する病気などに対応するための研究を行っているセンターです。環境科学科で、水資源・水環境の計測・管理などの教育を担当します。



## 生命環境学部 新設される生命環境学部は、4つの学科で構成されます。それぞれの学科に特徴などを伺いました。

### 〈生命工学科〉

#### どのような学科ですか？

生命工学科の前身は工学部の発酵生産学科(昭和32年設立)まで遡ることができます。その後、何度かの改組を行い平成16年に現在の学科名である生命工学科となりました。今回、新設された生命環境学部へ学科が移りましたが、学科の名称は変更せず、新生命工学科としてスタートします。ですから、新設学科ではありませんが、バイオテクノロジーとバイオサイエンス分野において十分な教育・研究実績があり、すでに多くの卒業生を社会に送り出しています。

#### どんな研究をしていますか？

詳しくは学科のホームページ(<http://www.bt.yamanashi.ac.jp/>)を見ていただくと良いのですが、「希少放線菌に関する研究」、「酵母に関する研究」、「酵素の構造と機能の研究」、「微生物を利用する研究」、「再生医療の実用化研究」、「発生工学を用いた新たな生殖技術の開発」などの研究を行っています。発生工学は新学部になって新設した研究分野です。動物(マウス)を使った実験を行います。これにより、遺伝子(DNA)、タンパク質、細胞、動物個体の各レベルにおいて生命工学の研究を行うことができます。

#### 3年生になると毎日学生実験があるって本当ですか？

はい、月曜日から金曜日まで午後(13:10~16:20)は実験です。1年間で4分野の生物工学実験を行います。2年生にも実験実習科目が3科目あります。発生工学基礎実習では、新設のライフサイエンス実験施設にて最先端の実験機器を使った実習を行います。これほど実験実習が充実している学科は全国でも多くありません。実践的な知識と技術が修得できるのが特徴です。

#### 新入生に期待することはなんですか？

平成24年度入学生は、新生命工学科の第一期生になります。これから、生命環境学部の生命工学科の良さ伝統を作りあげていくことになります。学生の皆さんは、高い理想を持って切磋琢磨し、苦難に打ち勝ち、社会に大いに貢献できる逞しい人材に成長して欲しいと思います。私たち教職員も共に努力して、高い教育研究レベルを実現し、世界に誇れる学科にしていきたいと思っています。



### 〈地域食物科学科〉

#### どのような学科ですか？

地域食物科学科は、食物(食品製造、食品栄養、園芸)およびワイン製造に関する知識・技術(微生物、機能成分、果実遺伝子)を学べる新しい学科です。バイオテクノロジーを駆使した果樹や野菜等の農産物の栽培、食品製造の科学的理解、栄養・有用成分の解析と利用を課題に、食物生産から食品製造までのプロセスを包括的に学びます。また、教育モデルとして「ワイン科学特別コース」を設置し、ブドウ栽培・ワイン製造を専門に研究する国内唯一の研究機関である「ワイン科学研究センター」の歴史と実績を活かして、専門的なワイン製造技術を教育し、ワイン製造業界で活躍できる人材を育てます。

#### ワイン科学特別コースの概要を教えてください。

「ワイン科学」はブドウの栽培、ワイン製造、ワイナリー経営、流通、経済、観光、文化など、ワイン産業に関係する総合的な学問分野で、アメリカ、フランス、オーストラリア、ニュージーランド、イタリアなど、多くのワイン生産国では、大学にワイン科学のための「学部／学科」が設置されるほど大きな学問分野です。本学では1学年6人の定員で「ワイン科学」について学ぶことができます。3年生までは、地域食物科学科の講義に加えて、ワイン製造に関する基礎的な分野を勉強します。4年生からは、ワイン科学研究センターでワイン用ブドウ栽培、ワイン製造、ワインの機能成分などワイン産業に関係する分野について深く学びます。

#### 地域食物科学科を卒業後、どのような職種で活躍できますか？

地域食物科学科は、バイオテクノロジーを基盤とした食品製造や食品栄養、園芸などの分野について知識を学び、実践することで、広く「食」に関する分野で活躍できる人を育てることを目標としています。卒業後は、食品製造・加工、農業(果樹や野菜等の園芸分野)に加えて、発酵や医薬分野への就職が期待されます。また、公務員(農学職域、国家・地方公務員など)を目指したり、指定された講義を履修することで、高校教員免許(理科・農業)を取得することも可能です。さらに食物について学びを深めたい方は大学院への進学も可能です。





## 〈環境科学科〉

### どのような学科ですか？

自然環境を調査したり、調査結果を解析・分析したり、さらには適切な環境保全対策を提案できる人を養成する学科です。本学科に入学すると、自然科学を基礎とした、自然環境についてのフィールド調査技術や、環境評価の方法、それらを発展させた環境管理に関する知識などについて学ぶことができます。

### 「フィールド調査技術」とは？

山や川に行き大気・水・土壌サンプルを採取し、それらに含まれる成分の分析などを行う技術、動物や植物の観察や生態学的・遺伝子的な特徴の把握などを行う技術、様々な機器を用いて大気、河川、土壌層の中での水や物質の移動を計測する技術などです。このように、自然環境に関係する生物・物理・化学・地球科学分野の調査技術を総合的に学ぶことができます。これは環境科学科のカリキュラムの特徴の一つです。

### 「環境管理に関する技術」とは？

人間と自然とが調和した社会を実現するには、環境保全の行動を計画・実行することが必要です。このための技術を環境管理技術といいます。たとえば、地理情報システムなどを用いて環境に関する様々な情報を解析する技術、人間活動が環境に及ぼす影響を予測する技術、環境保全計画を作成する方法などです。

### 環境についてどんな資格が代表的なものですか？

#### また、大学の卒業後にどんな人になれますか？

危険物取扱者(甲種)、第一種衛生管理者、作業環境測定士、毒物劇物取扱責任者、公害防止管理者、環境計量士、環境管理士、環境カウンセラーなどがあります。これらの資格の中には、大学卒業後にある程度の実務経験を積んでから受験資格が得られるものもありますが、環境科学科で学ぶことにより、筆記試験のための基礎知識を身につけられます。また、授業や実習を通じて、環境問題に対する幅広い興味・関心や、人と環境とが共生する社会の形成に貢献する「環境科学の専門家」としての高い目的意識と自覚を持つようになることを期待しています。



## 〈地域社会システム学科〉

### どのような学科ですか？

地域社会システム学科は生命環境学部における文系学科です。経済学、経営学、政治学、法律学の専門を学び、企業経営や社会政策の専門家を養成します。また、数学をはじめ、学部共通の生命・食物・環境の入門を学ぶことで、理系のセンスも身につけられます。就職先としては金融、流通、情報、通信、製造、サービス業などの一般的な企業から、生命環境関連分野の企業、および国家公務員・地方公務員、NPOなど行政や各種団体まで、広く対応できるようにカリキュラム構成していることが特徴です。また、研究者や商業の教員志望者へも対応しています。

### どのような学生を求めていますか？

経営志望の学生さんは国際経済の将来を見据えて実践する企業の経営中枢部門で働くことを希望し、いずれは社長になりたいのではないのでしょうか。また、社会に関心のある学生さんは、政策の立案や法制度や政治システムを学んで公務員として社会の運営に関わろうとしている、あるいは市長や議員などの地域のリーダーを目指したりNPOなど非営利団体で働くことを志したりしているのではないのでしょうか。そういう希望を持つ学生さんに向いているといえるでしょう。

### 高校ではどのような勉強をしたらよいですか？

試験科目はセンター試験では、国語、地歴、公民、数学、外国語があり、文系の標準的な科目です。個別学力検査では外国語が必須で国語または数学から1科目選択になっています。数学は社会科学の研究にも役立つ応用の広い科目で、入学後も丁寧に指導しますので、得意な学生さんは応用力を身につけ、苦手な学生さんも基礎力を身につけられますので心配はいりません。高校時代は受験勉強だけでなく、文系・理系を問わず社会生活上のモラルや基礎知識を広く学習してほしいと思います。長い人生の中では、専門知識に加えて常に新しい技術と教養を身につける学習力あるいは総合人間力ともいえる能力が有用です。一生どこでもいつでも勉強です。





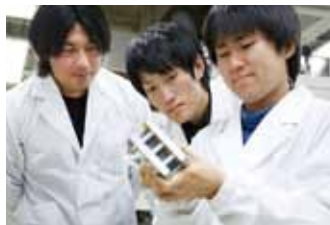
# グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム

(平成24年度新設)

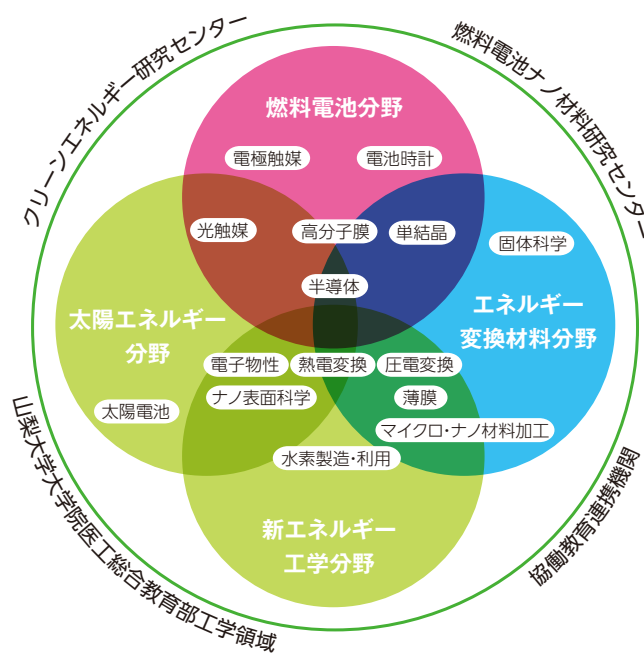
国際的に活躍するグリーンイノベーション創出のリーダーを目指した5年間一貫の大学院教育プログラムです。

本プログラムは平成23年度文部科学省「博士課程教育リーディングプログラム」に採択されています。

## グリーンエネルギー変換のエキスパートを養成



燃料電池分野、太陽エネルギー分野、エネルギー変換材料分野、新エネルギー工学分野の4分野で、1)低炭素持続社会構築のためグリーンエネルギーを効率的かつ経済的に変換・貯蔵する画期的な科学技術の開発、2)種々のエネルギー変換デバイスのベストミックスの実現、これらの研究を通した3)グリーンイノベーションの創出に取り組みます。



## きめ細かな少人数教育とグローバルネットワーク

プログラム4分野、連携教育研究機関(産業技術総合研究所、物質・材料研究機構など)、産業連携教育機関(東芝電力システム社、日産自動車総合研究所など)、グローバル協働教育機関(海外12機関)が一体となって、専門性・実践性・国際性の質を保証する博士課程教育を行います。

教員一人当たり1.5人の学生を担当し、きめ細かな少人数教育です。

## 特色ある独自のカリキュラムと充実した学修研究環境

学生自身が主専門と副専門を選択する「メジャー／サブメジャー」制度、特に優れた成績を収めた学生を「マイスター」として認定、産業界での長期インターンシップ(1ヶ月以上)とグローバル協働教育機関での長期海外留学(6ヶ月)を必修、学振特別研究員と同等の奨励金が支給される研究奨励金制度、などプログラム独自の教育・支援が満載です。



[グローバル協働教育機関] ミュンヘン工科大学、マックスプランク研究所、バーミンガム大学、ポアチェ大学、カリフォルニア工科大学、ペンシルバニア州立大学、ソウル大学、大邱慶北科学技術大学、中国科学院北京化学研究所など





## 卒業論文の作成過程で何を得るか

ゼミでの議論を整理するとともに、進展させながら、徐々に卒業論文を作成していきます。9月には、中間論文発表会を1泊2日の合宿において行います。時間を気にせず、とことん議論をして、今後の指針と卒業論文にかける決意を明確にしていくのです。そして、1月の下旬に、A4用紙80ページ程度の卒業論文を提出します。

書き上げた論文は、卒業論文発表会におい

## ゼミの内容と形式

4年の数学教育学のゼミは、3年までに学習してきた数学、数学教育学に関する内容の理解を背景に、各学生が算数・数学教育（以下、算数・数学を合わせて数学とする）に関する問題を見出し、見出した問題を究明することを目標として進められます。具体的な問題は、以下のような研究として位置づけられます。

- ・数学の認知・理解・思考
- ・数学の教授・学習過程
- ・数学の目的・意義
- ・数学のカリキュラム
- ・数学の内容・教材
- ・数学の学習指導
- ・数学の評価
- ・数学の授業研究
- ・数学教育史

上では、「問題を見出し」と簡単に書きましたが、学生にとってこの作業は、極めて辛くて忍耐力の必要な作業となります。これまで学生は、与えられた問題に対して解決する経験は積んできていますが、問題を自ら見出す、つ

まり「何が問題であるか」を見出すという経験をほとんど積んできていないからです。ゼミや卒業論文の作成を通して、問題を見出す能力と態度を培ってほしいと考えています。

ゼミは、週に1度行われます。2人の学生は、考えてきた内容を発表原稿として提出し、その原稿を基に、発表と議論を行います。ゼミには、学部学生だけでなく、修士課程の院生も参加します。また、3、4人の大学教員が参加し、指導・助言を行います。

こうした環境下にあるため、1つの発表に対して、多面的な議論が行われます。実践的な視点からの議論や先行研究との関連等の理論的な面からの議論、さらに教材に関する議論が行われるのです。また、記述が不明確、不適切であるといった表現上の指摘もなされます。学生は、この過程を通して、他者に自分の考えを伝えることの難しさと面白さを学ぶのです。

て発表します。発表会には、数学教育講座の学部1年から4年の学生、院生、教員だけでなく、同講座のOB・OGが参加します。発表会は、OB・OGが4年生に暗黙のルールをおくる場となっているとともに、4年生が教員になったときの絆が作られる場となっているのです。

最後に、ゼミや卒業論文の作成を通して何を身につけてほしいか。それは、知的に自立する態度です。自分で問題を見出し、見出した問題について徹底的に考え続けるという態度を身につけてほしいと願っています。そして、教師になった時には、子どもたちにその態度を背中ですべて示してほしいと思っています。



どうもこんにちは、ソフトボールサークルのレッドバンズです!!  
 レッドバンズには現在30名ほどが所属しており、主に水曜日の夜と日曜日の昼間の週2日で和気あいあいと活動しています。  
 みんなソフトボールの魅力に魅せられ、集まってきた人たちがばかりです。違う人も居るじゃん、とか思ったそこの君!……否定はしません。

## ソフトボールの魅力

では、ソフトボールの魅力を紹介していきたいと思います。やはり一番に言えることは、ソフトボールは身近なスポーツであるということです。みなさんも学校の授業や、スポーツ大会などで1度は経験したことがあると思います。また、老若男女楽しめるスポーツとして、地域でチームを持っているところも多いです。社会人になった後の地域のコミュニケーションツールとして、この大学生活中に経験しておいて何ら損は無いぞ!さらにソフトボールは、自然とプレーする喜びを味わうことができます。中には野球を経験したことが無いと、打ったり守ったり出来ないのではないかと考える人もいますが、そんなことはありません。ソフトボールの球は野球のそれと比較すると2倍ほど大きいです。それによりバットに当たる確率が高くなり、グローブに収まる確率も高くなります。要するに、打つことができれば走る動作が生まれやすし、捕ることができれば投

げる動作が生まれるので、プレーに関わるチャンスが増えるのです。また、塁間が狭いので塁に出る可能性も高くなり、大量得点するという醍醐味を味わうこともできます。実際に陸上や、ハンドボール経験者が所属しており、レギュラーとして試合に出ていますよ。

## レッドバンズの特色

いつも大学グラウンドか緑ヶ丘グラウンドで練習しているので、移動手段は自転車があれば十分です。そして、レッドバンズの一番のセールスポイントは、4月から12月にかけて

## Bellリーグに参加し、社会人チームと試合をしている

ことですね。ここで、普段練習している成果を試すことができ、さらには、普段の練習では味わうことのできない緊張感の中で真剣勝負をすることができます。普段の練習だけでなく社会人チームと切磋琢磨し合った結果、2010年の夏のスポーツ大会では、見事優勝を果たしました。また、レッドバンズには山梨大学の他サークルと掛け持ちしているメンバーも複数名おり、対外試合の場が多いことは大きな特色だと感じてくれているようです。同時に他学部・他学科の学生との交流の輪が広がり、情報交換の場にもなっています。



女子も男子も  
 学部・学科も  
 未経験者も経験者も関係ありません。  
 Join us!!



甲府

〈サークル紹介〉

# レッドバンズ



〈サークル紹介〉

# ソフトテニス部

## (YMSTC)



行われる東医体ではチーム一丸となって、団体戦では1勝に喜び、1敗に泣きます。そんな熱いチームが私達ソフトテニス部なのです。

どうですか?スポーツに打ち込みたい人にはもってこいの部活ではないですか?しかし、『大学入ってから部活だけに専念せず、いろんなことがやりたい!』という人もいると思います。そのような人でも勿論、私達は歓迎です。うちの部活は人数が多いので、様々な部活に対するスタンスを持つ人がいます。テニスに専念する人、テニスを楽しみたい人、飲み会に参加したい人等…。84人も部員がいるのですから当たり前といえば当たり前のことですね。各自のスタンスで部活に関わることができる、これが私達ソフトテニス部の強みだといえます。このような様々な考え方を持つ人たちと共に過ごす中で、上級生や下級生、そして同級生との繋がり大切さを学び、時に喜び、時に悲しみ、そして時に楽しむことができる、いわばソフトテニス部は『小さな社会』ともいえます。

こんにちは!山梨大学医学部ソフトテニス部(YMSTC)です。私達、山梨大学ソフトテニス部は男子37名、女子47名の計84名という大人数で賑やかに活動しています。部活は毎週月・火・木・土の週4日、医学部キャンパスのクレーコート、小瀬スポーツ公園テニスコート、南アルプス市にある若草テニスコートを中心に活動しています。

ところで皆さん、'軟テ'にどんなイメージを持っていますか? 'テニサーだし、チャラいでしょ!?'みたいなことを思っていますか?

確かに『サークル』のゆるーい感じの時もあります。昨年10月は5大戦という山梨・千葉・群馬・東京医科歯科・昭和の5大学で楽しくテニスをして、楽しく飲み会をする行事もありました。しかし、『部活』の面も私達ソフトテニス部は持ち合わせています。

**『やるときはやる!』**  
**それが私達のモットーです。**

実際に去年11月に行われた秋季関東医科歯科薬科リーグでは、男子は1部リーグで2位、女子は2部リーグで優勝、入れ替え戦に進出し見事に1部リーグ昇格を果たしています。毎年8月に

行われる東医体ではチーム一丸となって、団体戦では1勝に喜び、1敗に泣きます。そんな熱いチームが私達ソフトテニス部なのです。



**皆さんも山梨大学ソフトテニス部に入ってみようと思いませんか!?**

**『軟テ』はあなたをお待ちしています!**







滅菌物の取り扱い方を学習



洗髪の技術演習

[担当教員]  
浅川和美 教授  
内田一美 准教授  
山田章子 助教  
西山佐知子 助教

### [到達目標]

看護方法論では、対象者への援助に必要な看護技術を習得し、看護師の役割について考えることを目標としています。学生は看護方法論I～IIIを通して様々な技術を習得します。

# 看護方法論

### [授業の概要]

この授業は1年次の後期から継続して行われる授業です。1年次の後期で履修する看護方法論Iでは、様々な看護場面に共通して必要な看護技術を学習します。ベッドメイキング・体位変換・血圧測定・無菌操作が主な項目で、最終的に先生の前で実技試験を行い、一人できちんと行えるまで続けます。とても緊張しますが、しっかり技術が身に付きます。



足浴の技術演習

2年次前期での看護方法論IIでは、生活の援助に関わる看護技術を多く学びます。清拭・部分浴・洗髪・口腔ケア・経管栄養・導尿・気管内吸引・吸入などが主な内容です。私は特に導尿の技術演習が印象に残っています。感染予防のための無菌操作もきちんとできていないといけない手技なので、ここでも1年次で行った演習が重要になってくるわけです。排泄の援助を受けることは全ての人にとって羞恥心を伴うため、看護師の心理的サポートも大事になってきます。また、対象者の性別によって手技も少し変わってきますので、とても難しい内容ですが、終わった時の達成感は大きいです。

さらに2年次の後期で履修する看護方法論IIIの内容としては、筋肉内注射・皮下注射・静脈内採血・罨法・包帯法があります。学生はモデル人形を使い、何度も注射の練習をしたり、実際に学生同士で採血をしたりします。生徒は毎回ナース服に身を包み、以上の様々な看護技術を学びます。実際に技術演習をしているとき

は、『まさに看護師さん…!!』と、緊張と期待でいっぱいの気分になり、毎回新鮮な気持ちで臨んでいます。また、この授業では個人が技術を学ぶことに加え、グループで患者さんに対するケア方針をディスカッションし、発表し合っ、よりよい看護方法を見出す授業も行われています。患者さんそれぞれに合った最適な看護を提供できるようになるために、メンバーひとりひとりが意見を出し合っ

て必死に考えます。授業中も、先生方がじっくり指導して下さいますし、質問にも詳しく答えて下さいます。授業終了後は、技術の手順書やレポートを毎回提出し、それに対して先生方が赤字で細かくお返事を書き入れて下さるので、振り返りも十分行えて、どんどん自分の力になっていきます。この授業で学んだことを臨地実習時はもちろん看護師として臨床に出たときに応用していけたらいいと思います。



実際にグループで考えた気管内吸引の実施方法を発表



## Patisserie THE HEREN

山梨県中巨摩郡昭和町飯喰457-4

[電話]055-268-1663

[営業時間]平 日:13:00~20:00

土日祝:10:00~20:00

[定休日]水曜日 [駐車場]有

Patisserie THE HEREN

昭和通り  
飯喰 築地新居

イオシビル  
甲府昭和

### スイーツで彩る至福の瞬間。

医学部から昭和通りに出てすぐのところにあるお洒落なケーキ屋さん、パティスリーザ・エレンが今年1月にホールケーキの専門店として生まれ変わりました。



白を基調としたお店の中に入ると、ショーケースの中には、ずらりとホールケーキが並び、まずその鮮やかさに目を奪われます。『スイーツで彩る至福の瞬間(ワンシーン)』をコンセプトとしているだけあって、どのケーキも綺麗

に飾り付けされており、その姿はどれも芸術品のようです。見た目もさることながら、隣の結婚式場でもあるレストラン・クールのパティシエが手がける作品は味も絶品。ふんわりとしたスポンジに風味豊かな生クリームをまとったイチゴショートケーキはもちろん、季節のフルーツをフルーツタルト、3種類のチョコレートを使用したガトーショコラなど、どれも目移りして選ぶのに一苦労します。また焼き菓子も豊富にそろえており、贈り物としてもとっても喜ばれます。誕生日や記念日には是非、エレンを訪れてみてはいかがでしょうか。



シンプルな店内に並べられたホールケーキはどれも芸術品

## ものじゃ

山梨県甲府市丸の内2-2-5 ママビル3F

[電話]055-237-0123

[営業時間]17:00~2:00

[定休日]無休

[駐車場]有



### 3月、4月は山菜料理など、季節のものを取り入れたメニューも楽しみ。

今回僕がおすすめるお店は、創業5年目の「ものじゃ」さんです。このお店は団体での飲み会はもちろんのこと、個室がとても充実していて、2人でもオッケーなど、様々なシチュエーションに対応することができます。客層は20代前半から30後半まで男女共に人気が集まっています。

おすすめるメニューは一本90円からの焼き鳥、馬刺しなどの創作料理で、一番人気は生春巻です。僕も何度か足を運んだことがあります。お店の雰囲気はとても落ち着いていて、従業員のかたたちもとてもはきはきとしていて、僕たちもとても楽しい雰囲気でお酒や料理を楽し

むことができました。数ある料理のなかで僕が一番のお勧めは「頑固オヤジのホル鉄炒め」です。この料理は、モツ、ニラなどとてもスタミナがつきそうな食材が使われていて、鉄板料理のため、音や香りも楽しむことができます。普段、なにかと疲れている人にはおすすめです!

店長いわく、「来たら何でも食べられる居酒屋を目指している。」ということです。3月から4月にかけては、季節のものを取り入れた「山菜のてんぷら」、「山菜のおひたし」など旬のメニューを提供します。3月、4月は是非、観・送迎会にご利用くださいとのこと。また、アルバイトも募集中です。是非、足を運んでみてください!



団体席

個室の内装  
(2人席)

団体席(ロフト)

個室の外装



生命環境学部  
(平成24年4月設置)で  
FD研修会を開催



講演する前田学長



説明する早川新学部開設準備室長

1月20日(金)、21日(土)の両日、山梨大学工業会館において第1回山梨大学生命環境学部FD研修会を開催しました。

この研修会は、平成24年4月に開設される生命環境学部の専任教員が一同に会し、同学部の基本理念、目的など設置計画の概要と、教育課程の基本方針を踏まえた教育体制に向け、構成員として有用な情報や知識の共有を図ることを目的に開催したもので、専任教員約60名が出席しました。

初日は、前田学長から「山梨大学の現状と展望」と題した特別講演が行われ、古屋理事(企画・評価担当)及び高村企画・評価課長から、設置計画の概要、設置審査の経過等について、それぞれ説明がありました。

2日目は、早川新学部開設準備室長による管理運営体制等の説明に続いて、川村理事(教学担当)及び田中理事(学術研究・産学官連携担当)から、教育課程、研究活動等について、それぞれ説明がありました。

引き続き、各学科の代表から、当該学科の概要等について説明があり、参加者は生命環境学部の授業内容・方法等についての理解を深めていました。

その後行われた意見交換では、地域の要請に貢献できる人材を育成するにはどのような工夫が必要であるか、文理融合型の教育評価の在り方などについて、活発な議論が交わされました。

また、初日に開催された懇親会では、初めて顔を合わせる教員も多かったですが、事務職員も交えて交流を深めることができ、開設に向けて非常に有意義な研修会となりました。

平成24年度学年暦  
(年間予定表)

s c h e d u l e		s c h e d u l e	
事 項	期 日 等	事 項	期 日 等
前期開始	4月1日(日)	後期授業開始	10月2日(火)
入学式	4月5日(木)	大学祭(医学部キャンパス)	10月26日(金)~10月28日(日)
ガイダンス等	4月2日(月)~4月10日(火)	大学祭(甲府キャンパス)	11月2日(金)~11月4日(日)
前期授業開始	4月11日(水)	冬季休業	12月22日(土)~1月6日(日)
特別開講日	7月25日(水) 月曜日の振替日	特別開講日	12月19日(水) 金曜日の振替日 1月8日(火) 金曜日の振替日
前期授業終了	7月30日(月)	特別開講日	12月20日(木) 月曜日の振替日
夏季休業	7月31日(火)~9月20日(木)	後期授業終了	2月4日(月)
秋季卒業式・修了式	9月27日(木)	春季休業	2月5日(火)~3月31日(日) 各学部で定める
前期終了	9月30日(日)	卒業式・修了式	3月22日(金) 予定
後期開始	10月1日(月)	後期終了	3月31日(日)
開学記念日	10月1日(月)		
秋季入学式(大学院)	10月1日(月)		

(注)1: 特別開講日(振替日)とは、授業回数が不足している曜日について、当該不足曜日の授業を振替えて行うものである。  
2: 1月18日(金)は、大学入試センター試験準備のため休講とする。

編集後記

この一年間を振り返ると、3・11東日本大震災による今後の大きな課題が挙げられます。長い時間と努力が必要です。

一方、印象的だったことは、震災に対しての特に個人レベルの温かい支援や心遣いを強く感じたことです。そして、昨年の末にも話題になったように、絆という言葉が再認識した一年でもありました。この言葉は、幸い震災を免れた私たちの身の回りにもあると思うとき、ありがたい気持ちになると同時に、何かできないかと考えさせられます。

個人的には、この一年間私の住む町の自治会の組長を務めましたが、その活動の中でも、これまで私が気付かないまま多くの人々に支えられていたことを知りました。最近ではあたり前のように眺めていた大学近辺の春の風物詩である武田通りの菜の花の花壇も、この地区の自治会の方々のお陰でした。

4月から大学が大きく変わります。明るい気持ちで、趣味のテニスを復活させ、お陽様の光を浴びたいと思います。

広報誌専門委員会委員長 武藤秀夫



表紙作品の紹介  
タイトル「かきわける」

埴 史織  
教育人間科学部  
美術教育専修3年

山梨大学広報[ヴァイン] March 2012 vol.16

発行者:山梨大学広報誌専門委員会

[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]

山梨大学総務部総務・広報課広報グループ

TEL:055-220-8006 FAX:055-220-8024

E-Mail:koho@yamanashi.ac.jp

山梨大学ホームページ

<http://www.yamanashi.ac.jp/>



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。